

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

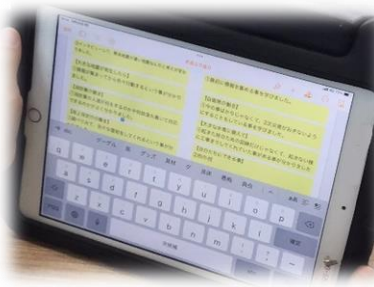
熊本市立川上小学校（熊本県）

## 【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながるクラウド活用

### ～単元構想図～

<p><b>第4学年2組 社会科 単元構想図</b></p> <p>単元名: 自然災害から人々を守る(全11時間)</p> <p>単元を貫く問い: 大きな災害が起きたとき、どのような人たちが自分たちを守ってくれるかを知り、自分の身を自分で守るために、自分たちができることはなんだろうと考える。</p> <p>授業の概要: 本学級は男13人、女14人の計27人である。アンケート結果から、単元名の学習がタブレットを活用して調べ学習が好きな子が多いので、タブレットを効果的に活用していく。 また、自然災害が起きた時の対策を全員で行ってはいけなかった。この学習を通して自然災害を自分たちで守る。自分の命や大切なものを守るための対策を考え、実行できるような学習をしていく。</p> <p>1. マンホールトイレの写真から、自然災害についての関心を高め、学習課題(単元を貫く問い)を設定する。</p> <p>2. 熊本地区について調べ、どのような人たちが関わったのか考える。</p> <p>3. 大きな地震が発生した際の抵抗力について調べる。</p> <p>4. 地震翌日の消防署の人たちの活動について調べる。</p> <p>5. 地震の際の備え(防災)の人たちについて調べる。</p> <p>6. 熊本で起きた水害について調べ、死者や行方不明者が少なくなっていることについて考える。</p> <p>7. 熊本で起きた水害について調べる。</p> <p>8. 大きな水害が起きた際の自衛隊の活動について調べる。</p> <p>9. 市や県、消防、警察等の機関の役割から防災に向けた取組について調べる。</p> <p>10. (本時) 自分の命は自分で守ることができることを調べ、まとめる。</p> <p>11. 自分たちの防災大作戦の発表会をしよう</p>	<p>単元終了時の児童の姿: 自然災害から人々を守る活動について、発生した物事の自然災害、動物の被害(熊)などについて、熊本の自然災害の被害や熊本県、全国的な災害を事例として、自分の命や大切なものを守るために、自分たちができることを考え、実行できるような学習をしていく。</p>
---	---

毎時間の学びをPagesで共有



毎時間の学びは共同編集のページで作成しました。「単元を貫く問い」として、単元の終末に“自分にできる活動”を考える際の手がかりとして、児童がいつでも自分の端末から閲覧することができるようにしています。

アプリケーションの特性を考え、児童自身がまとめ方を選択

### ～本時構想図～

<p><b>第4学年2組 社会科 本時構想図</b></p> <p>単元名: 自然災害から人々を守る</p> <p>日時: 令和5年9月25日(月)</p> <p>場所: 4年2組教室</p> <p>授業者: 福島 勇次</p> <p>①めあてを確認する。(5分) 自然災害が起きた時に、自分ができることをまとめよう。</p> <p>②大きな災害に備えて、自分たちができることについて調べ、共同作業でまとめる。(25分)</p> <p>③アドバースタイム(10分) 全体にまとめたものを発表すること。自分と友達の違いを比べ、多角的な考えをやすやすとする。</p> <p>④本時のふりかえりを(5分)</p>	<p>本時の目標: これまでの学習を振り返り、自分の命は自分で守るために、自分たちではどのような防災の取組みができるかを調べ、まとめることができる。</p> <p>【知・技・研】 調べたことをタブレットを活用してまとめ、今後発生される自然災害に対し備えをしていることを理解している。</p> <p>【思・判・表割】 自分たちができることを選択・判断して、適切に表現している。</p>
---	---



おじいちゃん・おばあちゃんに、自分の言葉で伝えたいからKeynoteでまとめました。

アニメーションや録音ができるので、Keynoteを選びました。一人一人の考えを1ページずつにまとめられるのがいいところです。

遠くに住む親戚にはすぐに会いに行けないけれど、防災のことを伝えたいので“Clips”で動画を作りました。

目的に応じて、使用するアプリケーションを児童自身が選ぶことで「個別最適な学び」を、共同編集機能を活用することで「協働的な学び」の実現を目指しています。



https://youtu.be/5Pw10-b-dFY

授業の様子や取組の詳細については、こちらから動画をご覧ください！